

もぐし海のこども園 えんだより 令和4年2月号



今年の冬は冷え込むことが予想されていましたが、例年に比べ暖かい日々を過ごしています。沿道の寒桜が一足早い春を感じさせてくれます。今年度も残すところ2か月となりました。今年の振り返りと新年度の準備を進める日々に、「いよいよラストスパート」な毎日を過ごしています。2月は、園児一人ひとりの一年の成長を振り返る月。3月になると新年度の準備が本格的になるため、書類の整理を行う中で、確かな成長を振り返ることができます。今月は、はっぴょう会を開催いたします。保育参観と絵画展と一連の行事の中で、お子様の身心の成長をご家庭と共有できるよう計画しました。開催に当たり、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。今年一年間の確かな成長をこどもの表現を通じて感じていただきたいと思います。



新年のご挨拶

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 いのちがやく子ども美術 inKUMAMOTO (~2/6)	2	3 節分・豆まき	4 立春	5 土曜午後希望保育
6 オンラインギャラリートーク (10:00~12:00)	7	8	9 避難訓練 (火災)	10	11 建国記念日	12
13	14	15	16 避難訓練 (総合)	17	18	19 土曜午後希望保育
20	21 絵画展・保育参観 (ばら)	22 絵画展・保育参観 (たんぼぼ)	23 天皇誕生日	24 絵画展・保育参観 (ゆり・ひまわり)	25 絵画展・保育参観 (さくら)	26 はっぴょう会
27	28 交通指導					

第14回いのちがやく子ども美術展inKUMAMOTO



無観客開催とオンラインギャラリートーク

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を考慮し、無観客開催とし、2月6日に予定しておりましたギャラリートークのみ、オンライン開催することといたしました。

オンラインギャラリートーク (ZOOMを使用)

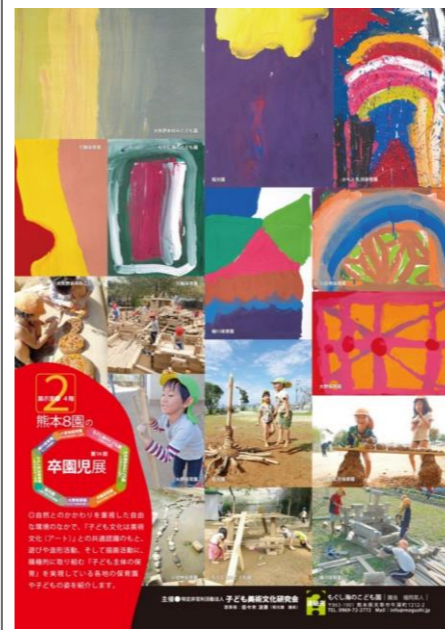
令和4年2月6日 (日) 10:00~12:00

講師：長谷 光城氏 (現代美術家) 長谷 圭城氏 (奈良女子大学教授)

ID：891 2262 5323 (パスコードなし) (ZOOMを使用)

「感じる」ことから得たイメージを遊びを通して表現する

子どもたちが使っているのは、不透明水彩絵の具、20号の馬毛の筆、4切または2切(半切)の画用紙です。水は「いのち」のふるさとなり、最も根源的な自然素材でもあります。子どもたちは水に触れることを喜び、水と関わることで心を開放します。だから水彩絵の具は、原始時代を体験すると言われる幼児たちにふさわしい素材だと言えます。この絵の具の泥んこに近いトロトロした感覚と馬毛の筆の軟らかさが、子どもたちの心を開放し、心象表現を可能にしていきます。また、太筆を使うことで面を描きやすくなり、子どもたちの閃きやアイデアをそのまま試しやすくなります。自由な環境の中で「感じる」と「表わす」ことを絶え間なく繰り返す子どもたちの世界はまさに「アート」そのものです。また、その体験の積み重ねが子どもたちの豊かな育ちに繋がります。子どもたちは、遊び=生活を通して「感じる」ことから得たイメージを遊び(造形・描画・会話等)を通して表現し、さらに広げ深めていきます。



もぐし海のこども園 絵画展・保育参観日程

2月21日 (月)	2月22日 (火)	2月24日 (木)	2月25日 (金)
ばらぐみ	たんぼぼ	ゆり・ひまわり	さくら

もぐし海のこども園 はっぴょう会 2月26日 (土)

※詳細と注意事項は別途お知らせいたします

コロナウイルス感染症拡大防止と行事開催について、配布物のご確認とご協力をお願いします

- 感染拡大を防ぎ、園児の成長や発達を妨げないよう配慮する。
- 感染者、濃厚接触者が発生した場合は、職員、保護者共に速やかに園に報告を行い、保健所の指示に従い対応を行う。
- まん延防止適用を目安に職員、保護者ともに登園・降園時はマスク着用する。(マスクを着用できない方への配慮を行う)
- 園児のマスク着用は免疫低下につながるため実施せず、職員のマスクは必要に応じて着用する。
- 発熱等、いつもと様子が明らかに違う場合は早めの対応をお願いします。(6) 個人情報の取り扱いに十分注意する。

3月の行事予定

- 3/1 上旬 おわかれ遠足 (園児のみ開催)
- 3/20 そつえん式 (卒園児と保護者のみ開催)

※詳細は別途配布いたします

4月の行事予定

- 4/9 (土) 入園・進級式、クラス懇談会

※詳細は別途配布いたします